

【ヒーリング表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科の教育目標				アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。				
ヒーリング表現領域の教育目標				ヒーリング表現領域では、ヒーリングや福祉を目的としながら、専門的な理論、知識と技術、独自の発想力と創造力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけ、各自の得意な表現を活かして質の高い作品づくりができる人材、公共空間でのヒーリング・アート、ヒーリング・デザインのコーディネイトができる企画力を持った人材、アートアクティビティの実践能力を身につけた人材の育成を教育目標とする。				
ヒーリング表現領域カリキュラム				芸術学部のディプロマポリシー				
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身につけたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身につけることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身につけたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習B		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習C		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習D		◎		◎	◎
			宇宙・人間・アート	◎		○		
			アート表現論	◎	◎			
			ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎
			癒しの文化論	◎	◎	◎		◎
		【1～4年次】選択	メディア概論	◎				
			ファッションデザイン史	◎				
			ファッション&テキスタイル概論	◎		◎		
			ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎		◎
			アートプロデュース概論	◎	◎			◎
	専攻・領域専門	必修	素材表現演習A		◎		◎	
			素材表現演習B		◎		◎	
			キャラクター制作基礎演習			◎	◎	◎
			ワークショップ演習		◎	◎	◎	◎
2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ	○	◎	◎	○	◎
			キャラクター文化論	◎			◎	◎
			カラーセラピー概論	◎	◎			
		選択必修	絵本芸術論	◎				
			子どもの福祉デザイン概論	◎				
			伝統・先端		◎	◎		
			国際交流文化概論A			◎		
			国際交流文化概論B			◎		
		【2～4年次】選択	メディアアート概論	◎			◎	
			演出概論	◎	◎		◎	
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎	
			ファッション文化論					
			子ども発達論	◎		◎		
			現代文化概論	◎	◎			
			映像文化概論	◎		◎		◎
			ファシリテーションデザイン概論		◎	◎		

【ヒーリング表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科の教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ヒーリング表現領域の教育目標			ヒーリング表現領域では、ヒーリングや福祉を目的としながら、専門的な理論、知識と技術、独自の発想力と創造力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけ、各自の得意な表現を活かして質の高い作品づくりができる人材、公共空間でのヒーリング・アート、ヒーリング・デザインのコーディネイトができる企画力を持った人材、アートアクティビティの実践能力を身につけた人材の育成を教育目標とする。					
ヒーリング表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
	専攻・領域専門	必修	プレゼンテーション技法論		◎			◎
			ヒーリング・デザイン実習A		◎		◎	
			ヒーリング・デザイン実習B		◎		◎	
			絵本制作基礎演習				◎	
			装丁技法演習				◎	
			壁画技法演習				◎	◎
			コンピュータグラフィックス演習				◎	
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
			芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
		【3～4年次】選択	メディア文化論特講	◎				
			デジタル知的財産概論	◎				
			メディアマネジメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
	専攻・領域専門	必修	ヒーリング・アートプロジェクト演習		◎		◎	◎
			プロジェクト&コラボレーション演習		◎	◎	◎	◎
		選択必修	キャラクター制作演習		◎		◎	◎
			形態表現演習		◎		◎	◎
			絵本制作演習		◎		◎	
			子どもの道具デザイン演習A		◎		◎	
			壁画制作演習		◎		◎	◎
			子どもの道具デザイン演習B				◎	◎
4	専攻・領域専門	必修	卒業制作		◎	◎	◎	◎
		選択必修	ヒーリング・クリエイションA		◎		◎	◎
			ヒーリング・クリエイションB		◎		◎	◎
			ヒーリング・クリエイションC		◎	◎	◎	
			ヒーリング・クリエイションD		◎	◎	◎	